



下肢静脈瘤 血管内治療

形成外科/循環器内科

下肢静脈瘤とは
足の血管がコブになる病気
「足がむくむ、だるい」が
発症のサイン

血液の逆流を防ぐ静脈弁が壊れると 下肢静脈瘤に

正常静脈には弁があり、血液が逆流するのを防いでいます。この逆流防止弁が壊れると、血液が逆流して静脈に血液が溜まります。この状態が続くとグネグネと曲がりくねった静脈瘤になります。下肢静脈瘤は見た目が悪くなるだけではなく、汚れた血液が足に溜まることによって右のような様々な症状が起こります。

当院では低侵襲な血管内治療が可能です。

従来の静脈を引き抜く手術(ストリッピング手術)に代って、カテーテルによる治療が可能です。実際に瘤を認めなくとも、右のような症状を認める場合には静脈逆流の可能性があります。形成外科もしくは循環器内科へお気軽にご相談ください。

下肢静脈瘤の症状

- 足の血管が浮き出て見える
- ふくらはぎがだるい・重苦感
- 足のむくみ
- 足のこむら返り(つり)
- 足がほてる
- 足のむずむず感
- 足のかゆみ・湿疹
- 足の色素沈着
- 足の潰瘍

下肢静脈瘤以外の病気の症状

- 足が冷える・冷たい
- 階段の昇り降りがづらい
- 正座ができない
- 歩くとふくらはぎが痛くなる
- 足がしびれる
- 足の裏が砂利を踏んでいるよう
- 冬になると足がかゆい